

経営比較分析表（平成29年度決算）

千葉県長生郡市広域市町村圏組合（事業会計分） 公立長生病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド訓	救 臨 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	12,701	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

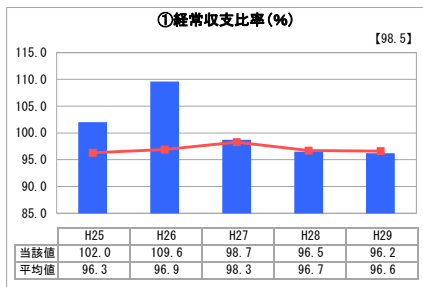
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
180	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	180
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
180	-	180

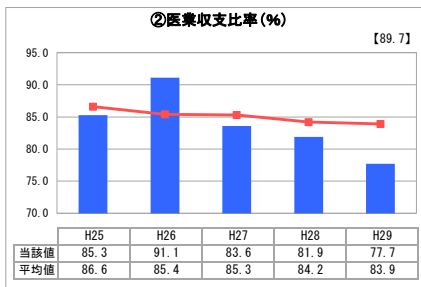
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

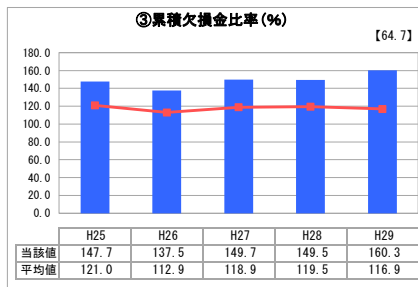
1. 経営の健全性・効率性



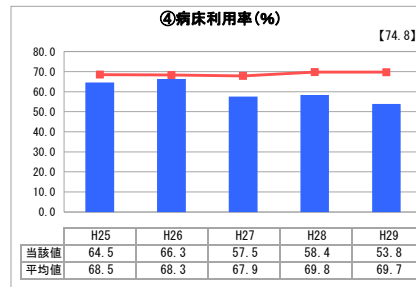
「経常損益」



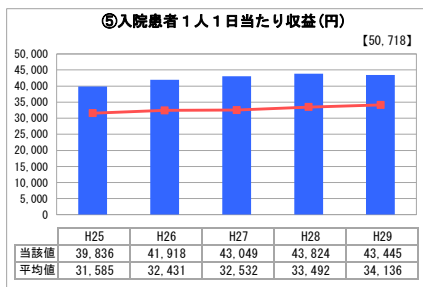
「医業損益」



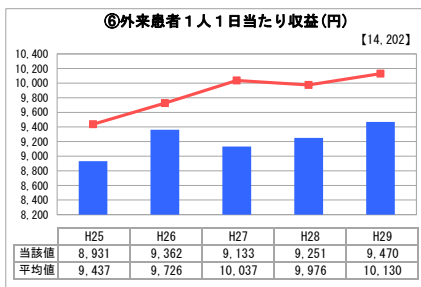
「累積欠損」



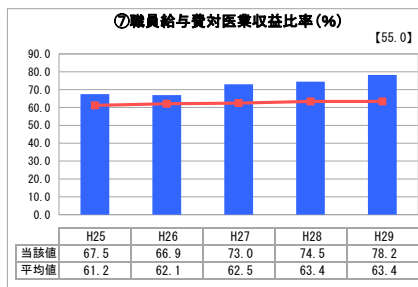
「施設の効率性」



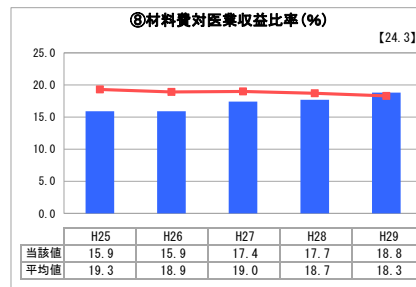
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

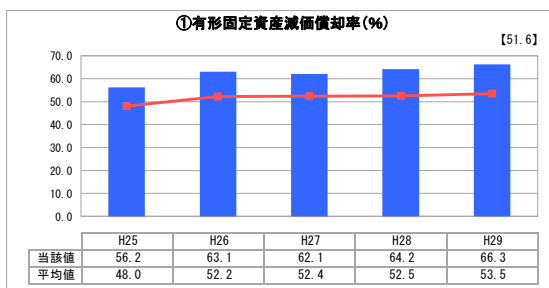


「費用の効率性①」

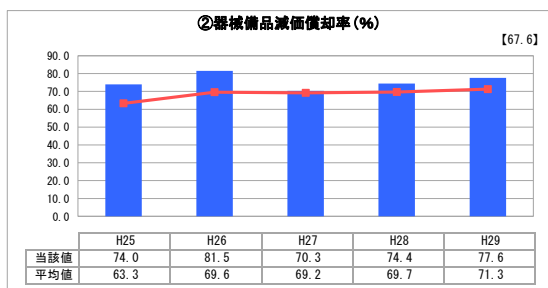


「費用の効率性②」

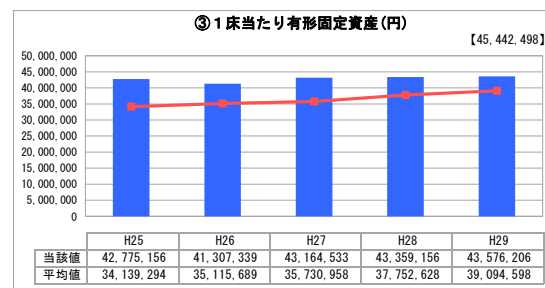
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

長生郡市の公的医療機関として1次・2次医療を主体に地域医療を実践している。また、救急基幹センターとして救急医療の提供をしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は、概ね類似病院平均と同様となっているが、医業収支比率については類似病院平均を下回っている。これは構成市町村からの繰入金に依存した経営となっていることを示しており、この傾向は年々強まっている。繰入金依存の経営を脱するために、今後も引き続き医師確保に努め、主に入院患者数の増加により収益の改善を図っていく。

病床利用率が低いことに加え、職員給与費対医業収益比率が高いことから、病院規模の見直しや職員の適正配置等を実施していかなければならない状況である。外来患者1人1日当たり収益の増加、材料費対医業収益比率の上昇は、抗がん剤使用料の増加が原因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

経営の悪化により資金繰りが厳しくなっているため、医療機器等の設備投資が難しい状況が続いている。これにより、施設・設備の老朽化を示す減価償却率が上昇傾向にある。

また、病棟・手術室・厨房等が入っているB棟が築40年となり老朽化が著しいため、耐震化や建替等の対応が喫緊の課題となっている。これについては、平成30年に公立長生病院あり方検討委員会を立ち上げ、検討・協議をしていく。設備投資や施設の更新のためにも、中長期的実施計画及び財政計画を再度見直し、経営改善による財源の確保が急務となっている。

全体総括

経営の健全化や老朽化の状況の分析により、収益の改善、病院規模の見直しや職員の適正配置等、B棟の更新が主な課題として挙げられた。これらの課題を解決するために、平成30年度に公立長生病院あり方検討委員会を立ち上げ、さらに全国自治体病院協会による経営診断を実施し、今後の病院の方向性や収益の改善方策等について十分に協議・検討し、収益の改善・経営の健全化を達成するため尽力していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。